様式１

応募申請書

公立大学法人　大阪府立大学　御中

平成２９年度　大阪府立大学 学舎整備事業 （コンストラクションマネジメント・設計・工事監理業務委託、工事請負、および資金調達　一括事業）の事業者として応募したいので、様式２から様式６－４の書類を添えて、申請します。

平成２９年　 月 　日

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　住　所

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　会社名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　代表者氏名 印

　　　　　　　　　　　　　　連絡先　　担当部課名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　担当者氏名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　ＴＥＬ

ＦＡＸ

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　Ｅ－ｍａｉｌ

様式2

**会社概要**　（共同提案の場合は、各構成員ごとに作成のこと）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 該当する業務を　四角囲み→ |  | 担当業務区分（要項2.(3)①） | ＣＭ業務、基本設計、実施設計、工事監理工事施工、資金調達 |
| 会 　 社 　名 |  |
| 代表者氏名 |  |
| 本 社 所 在 地 |  |
| 大 阪 府 内 の事 　務 　所（名称、所在地） |  |
| 資 本 金 | 百万円 | 従 業 員 数 | 　　　　　　　人 |
| 平成２９年度大阪府入札参加資格 | 建築一式工事 （工事施工担当） | 業者番号 |  |
| 建築設計監理一級 （ＣＭ,設計,監理担当） | 業者番号 |  |
| 業 務 内 容 |  |
| 特 記 事 項（諸官庁登録番号、所属団体 等） |  |
| 募集要項「５.(1)③④」への抵触 | 該当する方を四角囲み　↓抵触する　　　・　　　抵触しない |

※記入欄が不足の場合は、枠の拡大や、頁の追加をして記入ください。

※商業登記簿謄本の写し（発行日から３ヶ月以内）を添付ください。

※大阪府「測量・建設コンサルタント等入札資格（建築設計・監理1級）」または大阪府「建設工事等入札資格（建築一式工事）」を有しない構成員は、要項書「５.応募の条件(1)②」に従い、特定建設業の許可証、または一級建築士事務所の登録証の写しを添付ください。

様式3

**各業務の担当者の実績**

（各業務を担当する主担当者・管理技術者・主任監督員が担当した実績を記入ください。 ）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 担当する業務を　四角囲み→ | 担当業務区分（要項2.(3)①） | ＣＭ、基本設計、実施設計、工事監理、工事施工 | 工種 |  |
| 担当者氏名 |  | 保有資格 |  |
| 会社名 |  |  |  |
| 事業名称 |  |
| 実 施 時 期 |  |
| 事業種別 | ・新築・増築・改修等の種別 |
| 規模・構造 |  |
| 業 務 の 内 容 | ・業務の内容を具体的に記載ください。 （基本、実施の区別も） |
| 施 設 の 内 容 | ・施設の内容を具体的に記載ください。 |

※記入欄が不足の場合は、各枠の拡大や、頁の追加、または別紙を添付して記入ください。

※該当する実績が複数ある場合は、それぞれ別葉に記載してください。

様式４

**業務分担表**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 業務区分 | 構成員（企業） 名称 | 担当者氏名 | 工種※） | 担当者保有資格 | 担当者経験事業名 |
| 事業推進 | ＣＭ業務 |  |  |  |  |  |
| 事業実施 | 基本設計 |  |  |  |  |  |
| 実施設計 |  |  |  |  |  |
| 工事監理 |  |  |  |  |  |
| 工事施工 |  |  |  |  |  |
| 資金調達（債権買取含む） |  |  |  |  |  |

※）「工種」＝総合、建築、電気、衛生、空調など担当分野を記入下さい

※）担当者事業名は、様式３で挙げた担当者は、様式３で実績とした事業名称を記入下さい

**業務分担・体制図 （担当者（資格・経験）配置も示す）**

|  |
| --- |
|  |

・キャンパス、工事等によって分担する場合は、分担をお示し下さい。（下請負・委任を記載する必要はありません。）

・記入欄が不足の場合は、各枠の拡大や、頁の追加、または別紙を添付して記入ください。。

様式５－１

**事業スキーム１ （全体概要、各業務の相互関係、特徴、流れ、効果など）**

|  |
| --- |
| 概要説明・概念図 |
| 事業の仕組み、分担、流れ・手順、特徴、効果など、内容を具体的に、自由に説明してください。注）特に「CM業者」「設計事務所」「監理事務所」「工事業者」など、複数の構成員から成る場合は、役割分担や相互の関係・体制を具体に記載ください。注：その他、CM業務、事業実施業務について、アピールできる特長を自由に具体的に記入ください。注：とくに、基本設計、実施設計および完了に至るまでの各検討段階で、逐次、「予算に照らしたコストの管理　（「積算および価格協議・調整ルール」とも整合すること）」「設計上の課題・判断についての整理および、建築主に対する説明・意思確認」 が、適時、適確に行なわれるよう、方法・流れ・スケジュール等を具体的に記入ください。 |

※記入欄が不足の場合は、各枠の拡大や、頁の追加、または別紙を添付して記入ください。

応募会社名及び応募会社を特定できるような記載はしないでください。

**事業スキーム２　（価格確認の方法、「積算の基準」および「価格協議・調整ルール」）**

様式５－２

|  |
| --- |
| ＣＭ業務＝価格確認の方法　　　　　　　　　　　（可能な限り具体的に記載ください。） |
| （「積算の基準」および「価格協議・調整ルール」に照らした工事費の妥当性の確認などの方法、手順、および準拠する基準など） |
| 設計・工事請負＝「積算の基準」および「価格協議・調整ルール」 |
| (単価・数量が準拠する基準や見積比較方法、経費率の考え方など「積算の基準」、および、それらに対する値引率・調整方法など「価格協議・調整のルール」を、具体的に基準の名称、算定式等により記述ください。）注）明確な単価・数量基準の例：「公共建築工事標準単価積算基準」、「公共建築数量積算基準」、「公共建築設備数量積算基準」「公共建築工事共通費積算基準」（国土交通省大臣官房官庁営繕部）など |

※記入欄が不足の場合は、各枠の拡大や、頁の追加、または別紙を添付して記入ください。

応募会社名及び応募会社を特定できるような記載はしないでください。

**事業スキーム３ （資金調達の仕組み）**

様式５－３

|  |
| --- |
| 概 要 説 明・概念図 |
| 固定金利とした場合の条件の設定方法、および設定例（平成２９年４月１４日午前１０時現在の例）を合わせて提示ください。 　 （実際の金利の確定日については、契約時に協議します。）また、契約当初に「資金調達を要する事業」の事業費全額について、金利確定を行なう、ことの可否および可とする場合の条件について、御記入下さい。＜契約当初に「資金調達を要する事業」の事業費全額について、金利確定を行なう、ことの可否および可とする場合の条件＞ |

※記入欄が不足の場合は、各枠の拡大や、頁の追加、または別紙を添付して記入ください

応募会社名及び応募会社を特定できるような記載はしないでください。

様式６－１

**各業務経費、費用等（手数料等）の見積り**

当事業は、募集要項「２．」の通り、契約金額の総額を固定して契約した後に、設計等の業務を行ない、次いで、工事を行なうものである。

従って、次図のとおり、契約金額の総額から、「CM業務費」「設計費」「工事監理費」「資金調達費（利子等）」を差し引いた額が、「工事費の上限額」となる。

以下、充分に質の高いCM業務、設計、工事監理を行なうための経費、資金調達のための経費、および工事費の上限額の提示を求めるもの。

＜経費の構成イメージ＞

全体金額から、 ＜経費１＞～＜経費４＞ を差し引いた＜経費５＞にて工事

2,316,000円

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 「資金調達」を要しない事業① | 経費１（CM業務費）  |  |
| 「資金調達」を要する事業 | 中百舌鳥 | <経費１>CM業務費 | <経費２>設計費 | <経費３>工事監理費 | <経費４>資金調達費 | ＜経費５＞　**工事費の上限額**1,283,487,000円1,095,325,000円 |
| 高専 |  |  |  |  | 185,846,000円 |

経費１．「資金調達」を要しない事業（平成２９年度 単年度事業、一括支払）の費用

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 施設名称 | CM業務 |
| 総合調整・施主代行 | 業者選定支援 | 事業実施指導 |
| 中百舌鳥 | Ａ１棟撤去 | **円（税込み）**（上限額＝　　２，３１６，０００円 (税込み）） |
| 羽曳野 | 火災報知機更新 |

**（小計 ）経費１の額 （上表に回答した額と同額）**

|  |  |
| --- | --- |
| **税込み（円）** | **円(税込み)**（上限額＝　　２，３１６，０００円 (税込み）） |

**注１）＜経費１＞の上限額を下回っても、差額を「様式６－４」の「経費２～５の固定額」に充当できません。**

**注２）審査にあたっては、＜経費１＞ の金額の多寡は評価しません。（ただし、上限額を超える場合は失格とします。）**

※応募会社名及び応募会社を特定できるような記載はしないでください。

（「資金調達」を要する事業 （平成２９・３０年度事業、平成３１年度から１０年割賦支払））

様式６－２

経費２．CM業務の費用

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  | 総合調整・施主代行・支援 | 工事監理・工事業者選定 | 合計 |
| 施設名称 | ・計算式・考え方・費用（円(税込み）） | ・計算式・考え方・費用（円(税込み）） | 費用（円(税込み）） |
| 中百舌鳥 | A3書庫棟改修 | **・****・　　　　　　　　　　　　　　　　　　円** |  | **円** |
| Ａ１４棟改修 |  |
| C3倉庫棟改修 |  |
| Ｃ１０外壁改修 |  |
| 受水槽更新 |  |
| 高専 | 通路上屋改修 | **・****・　　　　　　　　　　　　　　　　　　円** |  | **円** |
| ２階建て通路改修 |  |
| 図書館改修 |  |
| 食堂改修 |  |

注）募集要項の業務内容、要求水準書に求める業務が充分に行なえる費用を記入下さい。

（「資金調達」を要する事業 （平成２９・３０年度事業、平成３１年度から１０年割賦支払））

経費３．設計業務・工事監理業務の費用（複数年度・割賦対象施設）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  | 基本設計 | 実施設計 | 工事監理 | 合計 |
| 施設名称 | ・計算式・考え方 （基本設計・実施設計を分けて計上してもよい）・費用　（円(税込み）） | 費用（円(税込み）） |
| 中百舌鳥 | A3書庫棟改修 | **・****・　　　　　　　　　　　　　　円** | **・****・　　　　　　　　　　　　　円** | **・　　　　　　　　　　　　円** |
| Ａ１４棟改修 |
| C3倉庫棟改修 |
| Ｃ１０外壁改修 |
| 受水槽更新 |
| 高専 | 通路上屋改修 | **・****・　　　　　　　　　　　　　　円** | **・****・　　　　　　　　　　　　　円** | **・　　　　　　　　　　　　円** |
| ２階建て通路改修 |
| 図書館改修 |
| 食堂改修 |

注）募集要項の業務内容、要求水準書に求める業務が充分に行なえる費用を記入下さい。

※記入欄が不足の場合は、各枠の拡大や、頁の追加、または別紙を添付して記入ください。

応募会社名及び応募会社を特定できるような記載はしないでください。

（「資金調達」を要する事業 （平成２９・３０年度事業、平成３１年度から１０年割賦支払））

様式６－３

経費４．資金調達のための費用（経費１を除く費用の割賦支払のための費用）

|  |  |
| --- | --- |
| 手数料 | 各手数料の内容、計算式、額(円(税込)) |
|  | 項目 | **中百舌鳥** | **高専** |
|  |  | **円** | **円** |
|  |  | **円** | **円** |
|  |  | **円** | **円** |
| 手数料計（円(税込)） | **円** | **円** |
| 利子 |  |
|  | 利率 | 考え方、および利子計算式、利率を記入下さい。（考え方の例：○○時点の東京円金利スワップレート(10年)に０．０●％を加えた率、固定金利）固定金利による資金調達とし、金利など条件の設定方法、算定式を示すこと。また、「利子額」は、固定金利（平成２９年４月１４日午前１０時時点での仮定）を記入ください。 |
|  | 総利子額(円(非課税)) | 「経費２，３，５」と「手数料」の合計額の割賦に対する発生利子額**円** | 「経費２，３，５」と「手数料」の合計額の割賦に対する発生利子額**円** |
| 利子・手数料計（円(税込み(利子非課税)） | **円** | **円** |

注）割賦期間以外、事業期間２年間等の利子が発生する場合は、その率・額も加えて下さい。

**（小計）経費２～４の合計額**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | **中百舌鳥** | **高専** |
| 税込み（円） | **円** | **円** |

※記入欄が不足の場合は、各枠の拡大や、頁の追加、または別紙を添付して記入ください

応募会社名及び応募会社を特定できるような記載はしないでください。

様式６－４

（「資金調達」を要する事業 （平成２９・３０年度事業、平成３１年度から１０年割賦支払））

経費５．工事費の上限額

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  |  | **中百舌鳥** | **高専** |
| 工事費 の上限額 | 「経費２～５の固定額（下表参照）」から、「経費２～４」を除いた金額（円(税込)） | **円** | **円** |
| 工事費に関する備考・注記など （自由記述） |  |

※各施設の設計が未定のため、各費用および算定式・考え方は、各施設を分けず、キャンパス毎に合計額を記入すること。

（「資金調達」を要する事業 （平成２９・３０年度事業、平成３１年度から１０年割賦支払））

**■経費２～５の固定額**（平成２９年４月１０日 見出し修正）

|  |  |
| --- | --- |
| 中百舌鳥　（税込み（円）） | **１，０９５，３２５，０００円** |
| 高専　（税込み（円）） | **１８５，８４６，０００円** |
| 計（税込み（円）） | **１，２８１，１７１，０００円** |

ただし、各キャンパス、施設に係る全ての費用の上限額は、要項３．（４）の各区分「イ」「ウ」それぞれの「契約予定金額内訳」以内で業務を行う。

※記入欄が不足の場合は、各枠の拡大や、頁の追加、または別紙を添付して記入ください

応募会社名及び応募会社を特定できるような記載はしないでください。

様式７

質疑書

平成２９年度　大阪府立大学 学舎整備事業 （コンストラクションマネジメント・設計・工事監理業務委託、工事請負、および資金調達　一括事業）の事業者募集について、以下のとおり質疑します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 該当資料名 | 該当ページ | 質疑 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

行間、行数は、自由に適宜調整して記入ください。

電話、FAX等でのお問い合わせは一切お受けいたしません。

回答は、質問を頂いてから概ね１週間後に、本法人のホームページに掲載します（メールでのお知らせはいたしません）。

住　所

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　会社名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　代表者氏名 印

　　　　　　　　　　　　　　連絡先　　担当部課名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　担当者氏名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　ＴＥＬ

ＦＡＸ

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　Ｅ－ｍａｉｌ